

# ロヒンギヤ難民危機 ユニセフの支援

2019年1月

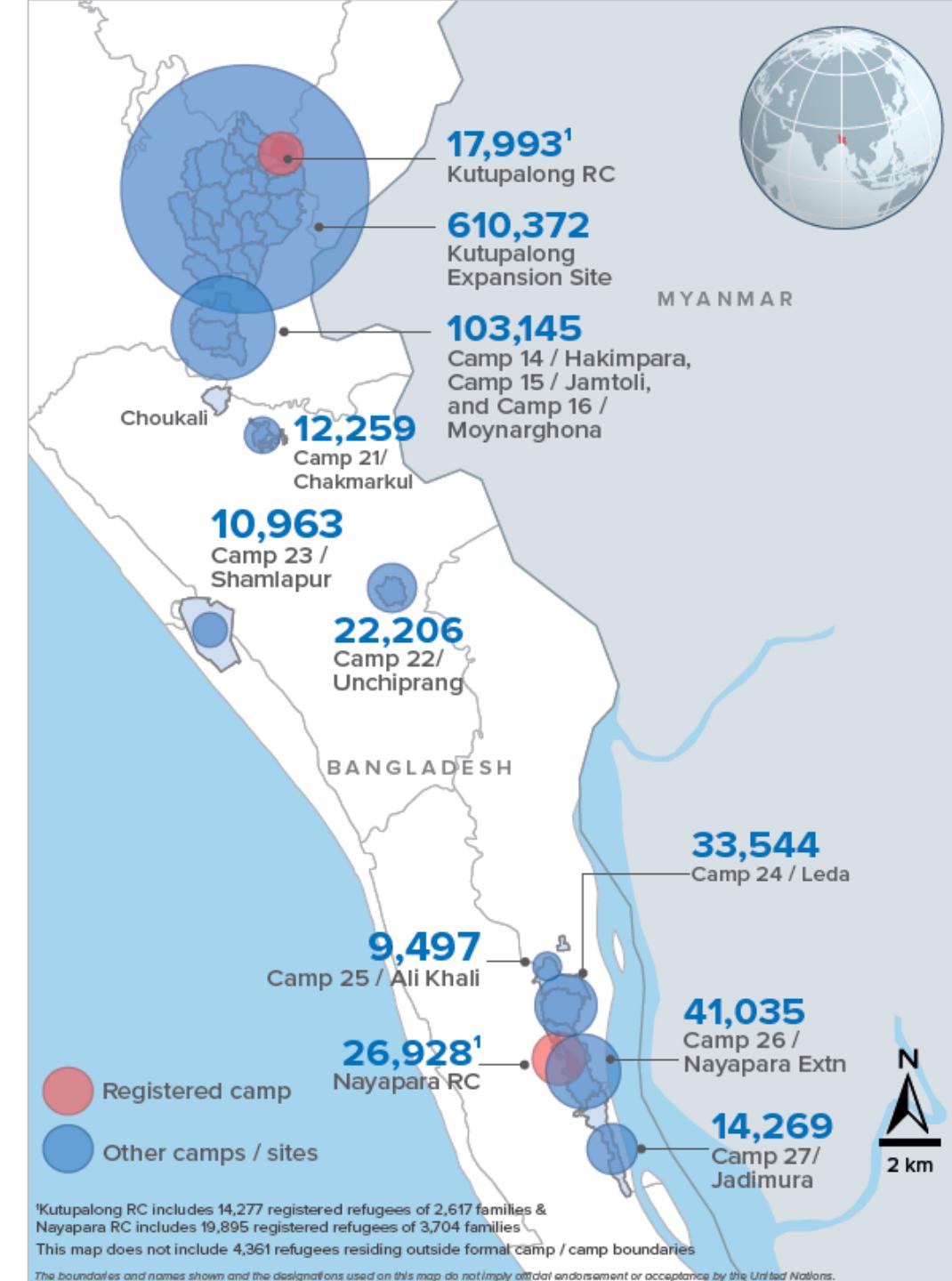


# 最新の状況

- 2017年8月以降、**40万人の子ども**を含む、73万人以上のロヒンギヤの人々がバングラデシュに到着。合計90万6,000人以上のロヒンギヤの人々が同国に身を寄せている
- **68万3,000人の子ども**を含め、120万人が影響を受けている
- 5歳未満の子どもの12%が急性**栄養不良**
- 39%の子どもと97%の若者に**学習機会がない**
- **おとなの同伴がない子どもや離ればなれになった子ども**6,000人が人身売買や児童婚、性的搾取のリスクに晒されている

# 影響を受ける地域

- 34のキャンプが極度に過密している
- クトウパロン・バルカリ拡張地に62万6,500人の難民が身を寄せる
- ウキヤ郡とテクナフ郡の人口が3倍に
- 県レベルのインフラ、保健サービス、水の供給がひっ迫
- キャンプと周辺地域は特にサイクロンやモンスーンにぜい弱



# 緊急の課題と新たな課題

- ・難民の人々は依然として完全に**援助に頼って**生活
- ・特にモンスーンの時期に、**病気の流行**の危険
- ・児童労働や強制的な結婚、人身売買など、**負の対応メカニズム**の使用が増加
- ・**10代の女の子や障がいのある子ども**に支援を届けることが困難
- ・キャンプ内や、ロヒンギヤの人々と非常にぜい弱な受け入れコミュニティとの間で**緊張が高まり暴力事件が増加**。
- ・ブハシャンチャール島（人が暮らしていなかった、洪水にぜい弱な地域）への移住の可能性
- ・**強制送還**の恐れ

**緊急の課題や新たに発生した課題に対する  
ユニセフの支援**



34万6,512人の難民が安全な飲料水に継続的にアクセス



61万8,280人の難民がトイレや手洗い施設にアクセス



67万9,593人の難民を対象に衛生習慣を促進



水と衛生インフラの  
計画的な維持管理、  
修繕、排泥

トイレ・給水所の運用や  
維持に関する研修を難民  
を対象に実施

モンスーンの前にインフ  
ラの補強と物資の事前配  
置





4~14歳の難民の子  
ども**13万9,920人**が  
緊急の非公式教育  
に登録



より良い学習機会  
を提供するため、  
**4,125人**の教員に  
研修を実施





子どもたちが学校に通い  
続けられるよう、教員の  
指導力と学習の質を向上

厳しい気候の影響を受け  
にくくするため、仮設か  
ら改善された学習スペー  
スへ移行

女の子や障がいのある子  
どもを含め、誰も取り残  
されないよう支援を実施





0～11ヶ月の難民  
の子どもも**7,595人**  
が5種混合ワクチン  
の接種を3回受けた

2  
of target

1  
of target

1  
of target

5歳未満の難民の子  
どもに対し、**13万**  
**4,449件**のプライ  
マリ・ヘルス・ケ  
アを実施

1歳以上の**99万**  
**3,320人**が経口コ  
レラワクチンを接  
種





感染症の新たな発生を防ぐため、定期予防接種サービスを拡大・強化

すべての女性に対し、出産前のHIVの母子感染予防について指導する

急性水様性下痢（AWD）或いはコレラの発生に備え、下痢治療センターは医薬品を備蓄する





7  
of target

難民の子どもも**15万6,646**人が心理社会的ケアを受けた

7  
of target

リスクのある難民の子どもも**13万4,449**人がケースマネジメントサービスを受けている

1  
of target

**99万3,320**人の難民がジエンダーに基づく暴力(GBV)におけるサービスを受けている





児童労働や児童婚を防ぐ  
ため、**若者へのアウト  
リーチやプログラム作成**  
を強化

社会的結束、紛争の平和  
的解決手段を紹介

ジェンダーに基づく暴力  
(GBV) のサバイバーが  
必要とするサービスを受  
けられるよう保障する





0～59ヶ月の難民の子どもが重度の急性栄養不良(SAM)治療を受ける  
**1万8,632人**



8万8,001人の女性が乳児や幼い子どもとの食育実践に関する力アップセミングを受ける  
**8,001人**



6～59ヶ月の難民の子どもがビタミンAを受け取る  
**14万7,167人**





**10代の女の子**特有のニーズを満たすため、栄養指導教育やサービスを拡大する

キャンプの**遠隔地に暮らす子ども**に移動チームが確実に支援を届けるため、データや手配の質を改善する

**2020年にかけて**、命を守る、すぐ口にできる栄養治療食の供給を確保する



難民**33万人**が、情  
報やコミュニティをや  
り組み、命をや  
うるための習慣する  
サービスにアクセス  
した

1  
of target

10代の若者**9,787**  
人が命を守る情報  
や照会サービスを  
受けた

9  
of target





革新的な**情報・フィードバックセンター**が受け入れ  
れ**コミュニティ**においても開設された

強制送還の可能性について情報を提供し、**高まる不安を緩和する**

**厳しい気候や病気から身を守る方法**を人々に伝える



# 受け入れコミュニティ

- ・コックスバザールはバングラデシュで最も**ぜい弱な地域**
  - 完全母乳育児率 30%
  - 保健センターで出産する母親 38%
  - 手洗い施設を含む、効果的な衛生環境の普及率 25%
  - 乳幼児期の子どもの発達（ECD）の活動に参加する子ども 44%
  - 子どものしつけに負の行動を行う両親 29%
  - 昨年18歳未満で結婚した女の子/女性がいる世帯 50%

# 受け入れコミュニティでのユニセフの支援

- 2019年の支援要請に受け入れコミュニティも組み入れ
- ユニセフの戦略
  - 影響を受けたウキヤ郡とテクナフ郡で社会的結束と信頼構築を促進
  - コックスバザール全域でシステムの強化と促進プログラムを実施
  - コックスバザールでの教訓を活かし、バングラデシュで弱い立場に置かれた子どもを対象とした公的サービスを強化

# 受け入れコミュニティでのユニセフの支援

2018年におけるユニセフの取り組み:

- 予防接種キャンペーン
- 特別なケアを必要とする新生児ケア
- 急性栄養不良の治療
- 新しい水ネットワーク
- ジェンダーに基づく暴力（GBV）の防止と対策
- 変化の担い手として若者の参加促進

# 現在ボトルネックとなっている課題や制約

- ・初期の支援対応の早さの結果、サービスの質に差が生じた
- ・長期的な解決策への道筋が不明確であり、政治的な問題をはらむ
- ・極度の過密状態 = 高い人口密度、貧しい生活環境
- ・不十分なインフラ、道路のアクセス、物流、モンスーンやサイクロンによって複雑化
- ・経験豊富で専門的な技術を備えたNGOパートナーの不足

# 2019年の支援戦略

- ・**命を守る支援**を継続、さらに費用対効果の高い革新的な方法で支援を提供
- ・**国のサービス提供**の強化、難民と受け入れコミュニティの**社会的結束**の促進
- ・**緊急時への備え**とリスクの軽減への支援を拡大
- ・4歳～14歳の全ての子ども（288,000人）への**教育支援**および若者たち（60,000人）への**職業訓練**を支援

# 2019年の支援戦略

- 職業やライフスキルに関するトレーニング、参加の機会を含め、**10代の若者のニーズを優先**
- 支援活動のすべてを通して**ジェンダーに基づく暴力を減らす方策**を取り入れ
- **現金支給支援**と社会的保護対策との関連付け

# 2019年の支援目標

- ・**栄養**：重度の急性栄養不良の5歳未満児2万4,500人に治療を提供
- ・**保健**：子ども10万5,152人が5種混合ワクチンの接種を3回受ける
- ・**水と衛生**：55万人が安全な水と機能的なトイレによる恩恵を受ける
- ・**子どもの保護**：16万人の子どもへ心理社会的ケアを提供
- ・**ジェンダーに基づく暴力**：2万7,000人の女の子や女性たちにジェンダーに基づく暴力の予防や支援サービスを提供
- ・**教育**：27万2,000人の子どもに公式または非公式の教育を提供
- ・**若者**：5万2,000人の若者が能力育成プログラムに参加

# 他国連機関との協働

- ・セクター間調整グループ/戦略的執行グループ（SCG/SEG）：コックスバザールでの全ての支援活動は、国際移住機関（IOM）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、赤十字社（RC）が主導するセクター間調整グループによって調整され、ユニセフは主要な活動機関として協働している。
- ・UNHCR：ユニセフは、UNHCRが取りまとめる保護セクターと緊密に連携しながら、“子どもの保護”分野の活動を主導し、共同で出生登録などのアドボカシーを進めている。また、教育分野でも、連携を強めている。
- ・IOM/UNHCR：難民キャンプ内の調整
- ・世界食糧計画（WFP）：ユニセフとWFPは、協力して総合的な栄養支援を実施している。SCOPE（バウチャー制度）の活用においても連携している。
- ・世界保健機関（WHO）：ユニセフは、政府が主導する予防接種事業において、WHOと協働している。WHOはユニセフも参加する保健セクターの調整機関である。

# 分野

# 2019年支援要請 (米ドル)

栄養	18,000,000
保健	19,773,645
水と衛生	35,700,000
子どもの保護と ジェンダーに基づく暴力	18,835,658
教育	47,000,000
開発のためのコミュニケーションと 影響を受ける人々への十分な説明	4,200,000
緊急時への備えと社会保護	9,000,000
Total	152,509,303

# 受領済みの支援金: 2019年

機関	支援分野	支援金額
カナダ政府	教育	\$2,600,000
EU国際協力・開発総局	子どもの保護/教育/栄養/水と衛生	\$6,900,000
英国国際開発省	子どもの保護	\$5,000,000
欧州委員会人道支援事務局 (ECHO)	栄養	\$1,300,000
欧州連合 (EU)	子どもの保護	\$2,169,000
ドイツ復興金融公庫 (KFW)	教育/子どもの保護	\$15,000,000
韓国政府	子どもの保護	\$1,000,000
<b>合計</b>		<b>\$33,969,000</b>

Thank You



for every child

